



上左/造作の本棚を設えた、図書館のようなダイニング。家具が大好きな本や絵、写真を飾りたい。上中・上右/引き戸はアンティーク種だが建具からすべて新しいオリジナル製品。1枚1枚違う表情を見せるアンティーク調のガラスはフランス製。下/パブリック空間でもある土間と茶の間や個室などのプライベート空間の間に内玄関を設けると、カフェやギャラリーのような雰囲気



タイルを組み合わせたトイレや洗面所も「ハウスランド社」のオリジナル。家づくりの参考に



「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」だ。  
 ご覧のとおり、築140年になる茅葺屋根の古民家をリノベーションした外観は、周辺の木立や草花と馴染む和の設えである。だが引き戸を開けて入ると中の雰囲気は一転、テラコッタ風のタイルを敷き詰めた30畳にもなる土間が広がっているから目を見張る。料理や食事を楽しむキッチンコーナー、読書を楽しむような新ストロップのコーナー、そのすぐ横には音楽を楽しむコーナー……と、土間を中心に様々な暮らしのイメージが広がっていく。

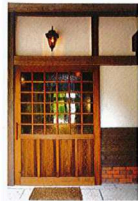
細かい部分までこだわりが行き届いたデザインもまた秀逸。歴史を感じる太い梁や柱に漆喰の塗り壁。日本の伝統的な建物と、欧州の古くから受け継がれてきた民家のモチーフとが調和するこの絶妙なセンス、探していた読者も多いたのではないだろうか。古くも作った人や使う人の人柄が伝わるモノたちが持つ温もりや雰囲気をおおしく感じ、歳月を経てなお魅力的な表情になる、またはそうなる可能性を持った住まいを好む人なら、きっとこの「風のくら」を気に入るはず。家づくりのヒントをたくさん見つけてほしい。



house exhibition  
 家づくりの  
 展示場訪問



茅葺き屋根の民家をリノベーションしたモデルハウス「風のくら」



新築でも古民家のような心温まる家を望む方へ  
 たとえ新築であっても「古民家のような落ち着いた着きと雰囲気を持った空間」とか、「10年、20年先に味わいを増す空間を」と願う人が増えている。そういうご夫婦にぜひ見ていただきたいのがこちら、「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」。

「ハウスランド社」の展示場  
 モデル住宅『風のくら』  
 美しい自然が息づく広大な敷地に建つ「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」。ここは、和洋のデザインセンスを調和させた広い土間を持つ、現代版の古民家。古民家風の家をお考えの方、必見です。

和洋ミックスの現代的な古民家と土間のある暮らし